

養豚問題懇談会の開催について

農林水産省生産局畜産部

1 趣旨

- (1) 養豚問題懇談会は、これまで、養豚をめぐる情勢の変化等に対応した今後の養豚のあるべき姿について検討を行ってきた。直近では、平成16年度に取りまとめられた報告書に基づく行動計画（工程表）について、その後毎年、本懇談会で取組状況の検証や養豚施策のあり方等について検討を行ってきたところである。
- (2) 最近の養豚をめぐる情勢を見ると、昨年来の穀物価格をはじめとする生産資材価格の上昇が養豚をはじめとする畜産経営に大きな影響を与えており、今後、国際的な穀物市況の動向に左右されにくい安定した養豚経営を実現し、消費者に安全な豚肉を安定的に供給する必要がある。
- (3) また、今後も進む国際化の中で、我が国において豚肉生産が安定的に行われるためには、消費者ニーズに対応した豚肉の生産・流通を行うとともに、担い手となる生産者に対する経営安定のあり方を整理する必要がある。
- (4) 現在、農林水産省においては、「食料・農業・農村基本法」に係る基本計画の見直しについて議論を重ねており、この検討と平行して、今後の畜産施策のあり方等について、「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」及び「家畜改良増殖目標」を中心に議論が進められている。
- (5) これらの議論と並行して、今後一層の国際化への対応が求められる養豚産業の担い手のあり方、生産コスト低減方策、品質向上方策等について検討し、将来の目指すべき養豚産業のあり方を示すため、生産者、消費者、流通関係者や学識経験者等からなる懇談会を開催する。

2 懇談会の主要テーマ

- (1) 担い手として明確化すべき経営の考え方
- (2) 生産コスト低減、所得確保を図るための対応
- (3) 養豚経営安定のための施策のあり方
- (4) その他

3 懇談会の日程（案）

第1回 6月17日

養豚をめぐる情勢、論点の抽出

第2回 11月頃

報告書骨子（案）の検討

第3回 平成22年3月

報告書（案）の検討